

## 普及活動情勢報告

### 情勢報告（平成27年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

#### 大正支所シシトウ反省会



12月21日、JA高知はた大正支所シシトウ部会員8名が参加し、27年産夏秋栽培のシシトウ反省会を開催しました。

普及所は、1本当たりの出荷量とAM率の向上を目標に、病虫害防除、整枝剪定、肥培管理等の指導を行いました。今年は定植直後の高温乾燥によって、初期生育が悪かったことから初期収量は低く推移しました。最終的には、AM率は昨年を下回る見込みですが、生産者が減少（22戸→18戸）したにもかかわらず、昨年並みの出荷量を確保しました。

今後はJA北幡営農センターと共に、出荷データを基に28年産の生産目標の聞き取りを行い、栽培指導を行う予定です。

#### 集落営農先進事例研修



12月2～3日にかけて、四万十町内の7集落及び関係機関から22人が参加して、滋賀県の（農）サンファーム法養寺及び甲良集落営農連合協同組合、兵庫県の（株）五斗長営農で現地研修を実施しました。

視察先の法人は、いずれも兼業農家が集落の農地を守るために活動しており、参加者からは機械更新の考え方等、参考になったとの声がありました。

今回聞き取った内容等を、今後のそれぞれの集落での活動支援に活かしていきます。

#### ピーマン部会現地検討会



12月8日、興津地区のピーマン部会で目慣らし会及び現地検討会を実施しました。当日は新しくピーマン栽培に取り組む方も含めて19名が参加しました。

11月の天候不順で出荷量が伸び悩んでいたため、普及所からは整枝の仕方によって開花数が安定し、樹への負担が少ないことを調査結果から説明しました。

今後も、新規栽培者への勉強会の開催等、部会の活動を支援していきます。

### 集落営農の法人向け研修会



12月14日、第6回研修会において、事業年度を締めるに当たっての流れや作成書類、手続き等についての情報提供と簿記記帳の支援を実施しました。

参加した3農事組合法人は、それぞれの状況に応じた必要事項の確認や、簿記記帳を進めることができました。

これから1月～3月にかけて、JAと協力して、決算、次年度計画策定等を支援していきます。

### ミシマサイコ出荷検討会及び現地検討会



11月25日、JA四万十薬草生産部会の出荷検討会及び現地検討会がJA営農センター及び県農業担い手育成センターで開催され、ミシマサイコ栽培農家9戸が参加しました。

普及所からは、種子及び根の収穫作業と調整作業の工程をJAとともに説明し、品質管理の徹底を呼びかけました。また、平成29年に品種変更が予定されている2年生品種の生育状況を担い手育成センターで研修を受けた後、導入時期等を協議しました。

2年生品種については品種特性や栽培管理に不明な点が多く、製薬会社の説明会を受けた後、導入時期等を判断することになりました。

### ニラの環境制御技術勉強会



12月24日、ニラの環境制御技術勉強会を開催しました。炭酸ガス発生機及び環境測定装置を導入している農家6戸が参加し、熱心に検討されました。

炭酸ガスを施用している実証圃で現地検討を行い、生育状況を確認しました。その後、測定データを基に温湿度管理や炭酸ガス施用濃度、栽培管理の改善等について検討しました。

引き続き、JA四万十と連携し、炭酸ガス導入農家の環境制御技術向上のための支援を行っていきます。